

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2009年5月30日	2009年5月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別 犯罪集計結果：補足文書 1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書 2

A, 一般的傾向

[補足文書 1]

B, 地区別 犯罪集計結果

今月は、若者のグループ間での暴力沙汰が発生している。全国的にも多発して政府が対策を講じているが、リヨン北部のロシュタイエ・シュル・ソーヌでグループが衝突（5月8日）。リヨン東部の郊外サン・ローラン・ド・ミュールではサッカーの試合後にグループ間での暴力沙汰が発生（5月11日）。

校内暴力が発生して、武器の校内への持込を検査するところもあるが、5区のコレージュで生徒が校長に暴力を振るった（頭突き）（5月4日）

全体的な傾向として、ヴィルールバンヌなどリヨン東部に空き巣などが集中的に発生している（下記参照）。

引ったくりなど、暴力行為が発生しているのは、2区の繁華街、3区・6区・ヴィルユルバンヌにかけてのパール・デュ地区周辺である。また暴力的な窃盗などは、深夜および早朝に集中している。またカージャッキング、車、及びトラックに積んである物品・商品などの盗難を狙った犯罪も、ほとんどが深夜に起きている。このようなことから、車での移動であっても深夜には特に気をつける必要がある。

[補足文書1]

2009年5月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり																	0
空き巣		1								9	1	1		1			14
置き引き																	0
引ったくり			1			1											2
万引き										1							1
強盗		3	2				2	1		4	3	1	1	1		1	19
窃盗(車・自転車)										1		1					2
カージャック			1							1	1			1			4
車内盗難												1					1
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1	2				1	1	1		8	1	1	2				18
詐欺(カードなど)										1		1					2
拉致・誘拐																	0
破壊・放火										1							1
ストーカー																	0
麻薬取引・所持														1		1	2
飲酒／無免許運転																	0
その他		1								3	1		2	1			8
合計	1	7	4	0	0	2	4	2	0	29	7	6	5	5	0	2	74
備考欄:	リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons																
	リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon																
	リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison																
	リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas																
	* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。																

[補足文書 2]

C,多発の手口と場所の特定・防止策 (新聞による報道記事から)

① カージャッキング

5月10日、リヨン3区で、早朝の5時前に、赤信号で停止していたBMWに近寄ってきた2人組の男が車の運転手をひきずりおろして車を奪って逃走。日中・深夜に限らず、場所によっては内側からロックして走行するほうが望ましい。助手席に鞆を置いている場合は、助手席側のドアをロック、また窓も閉めておく。フランス国外、特に南ヨーロッパに車で観光する場合は、このような手口の被害が頻発しているため、特に注意すること。

また、5月27日にも、エキュリーにてカージャッキングが発生。68歳の男性が車の運転席に座ったところ、同時に背後からつけてきた男が後部席に入り込み、男性をナイフで脅し、車を発進させた後、シャンパーニュ近くで男性を下ろし車を奪って逃走。

その他、ヴァランス Valence でも数件のカージャッキングが発生している。

② リュー・ラ・パップ Rilleux la Pape、ヴィールールバンヌ、トゥール・ド・サルヴァニーなどで空き巣が多発

5月は祭日が多く外出が増える時期。それにあわせて空き巣も増えている。今月の統計からもわかるが、リヨン東部を中心に空き巣が多発した。(プログレ紙 5月10日付)警察は、隣人との相互の監視体制を呼びかけている。常日頃からの最低限の近所付き合いをしておくに越したことはないだろう。

アン県の Belley 近くでも別荘などの空き巣が多発。手口はいずれもよろい戸を壊して、窓から侵入している。

リヨン西部のトゥール・ド・サルヴァニーで、5月14日の午前中、何者かが電気ロック式の扉を開いて車で侵入後、正面玄関を壊して建物に入り込み家中を詮索し、発見した金庫ごと車に積み込んで逃走した。(プログレ紙 5月15日)

③ ヘロインなどの密輸ルート摘発

ロワール県とアン県で麻薬の密輸ルートが摘発された。

- 5月8日、アン県ラニューLagnieu でヘロイン、コカイン、大麻などの密輸ルートが摘発された。今までに少なくとも7kgのヘロインがこのグループを経由して売りさばかれた。
- 5月13日、サン・テチエンヌを中心に、麻薬ルートの大掛かりな摘発が行われ、大麻を中心にした密輸ルートが明らかになった。(5月12日)

④ 暴力・窃盗事件

- 5月24日深夜2時50分ごろ、リヨン2区で17歳と19歳の2人の若者が26歳の通行人を脅して携帯電話と80ユーロを奪ったとして逮捕された。(プログレ紙5月26日付)
- 5月19日、ヴィールバンヌで21歳の女性がバッグを引ったくりされ、16歳の少年が逮捕された。(プログレ紙5月20日付)
- 5月11日14時20分頃、70歳の老人女性がリヨン2区で2人組の男に襲われ、バッグを取られた。(プログレ紙5月12日付)
- 5月5日午前3時半ごろ、2区のレピュブリック通りで20歳前後の4人の男が2人の女性に近寄って嫌がらせをはじめ、間に入って助けようとした男性2名が、4人の男たちから暴行を受けた。犯人たちは警察に逮捕された。

⑤ クレジットカードの詐欺

4月30日、コンドリュウ市の82歳の自宅が荒らされ、銀行カードのカルト・ブルーが盗難にあった。その後、警察と名乗る男から電話があり、「盗難犯人を捕まえたので、カードの確認のために暗証番号を教えて欲しい」といわれ、老人は暗証番号を教えたが、犯人は現金を引き出すまでにはいたらなかった。暗証番号は警察にも、銀行にも絶対に教えないこと。(プログレ紙5月9日付)

30歳の男が、個人宅からカード番号を盗んで携帯電話の利用サービスのリチャージに使用した。被害額は500ユーロ(プログレ紙5月7日)

⑥ クレジットカード詐欺グループの逮捕

5月半ばに、イゼール県を中心にして大々的にクレジットカード詐欺を行っていたグループが摘発された。犠牲者は400人、金額にして10万ユーロに達すると見られている。犯人の2名は東欧出身で、グルノーブル近郊の郵便局のキャッシングマシンに細工を施し、カードの磁気を読み取ると同時に、カメラで暗証暗号を撮影して新しくカードを作成するというプロの手口。

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3.在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌアルプ地方今月の出来事(抄)

豚インフルエンザ患者、ローヌ県第1号

5月31日、ローヌ県で初の豚インフルエンザ患者が確認された。43歳の男性で、24日にドミニカ共和国への団体旅行から戻り、2日後に発熱などの症状を訴えた。直ちに、クロワルツスの病院に入院。タミフルで治療を受けている。一緒に旅行した人には感染していない模様。

現在、フランス全国で26人が感染の確認を受けているが、症状は軽い。死亡者はない。今回の男性は、ローヌ・アルプ地方では2人目。5月25日に米国から帰国した女性が感染していることが判明し、現在グルノーブルで治療を受けている。(プログレ紙5月31日付) 感染した疑いがある場合は、**まず「15番」に電話で照会すること。**

5.その他の情報

① 赤信号無視の取り締まりに新兵器

5月7日、信号無視した車の写真を撮るシステムが、リヨンに初登場した。MARC-BLOCH通りのJean-Jaurèsとの交差点。赤信号の無視した車が写真撮影される。テスト段階を経て、一般化される。135ユーロの罰金と、4点の減点となる。リヨンではまず人身事故の多い直角の交差点に徐々に配置される。Route de Vienne/Av. Berthelot (8区)、Sidoine-Apollinaire/Bourbonnais (9区)、Cours Lafayette/Créqui (3区)などが第1段階の対象となっている。

② ローヌ河岸

ローヌ河岸が整備され、散策や自転車・ジョギングなどの場所として利用されているが、ギョテイエール橋の近辺には、ペニッシュの船を改造したカフェ、バーなどがにぎわっている。その近辺には夜遅くまで人々がたむろし、音楽などで周辺の住民から苦情がでている。特に、気温があがってきた今月あたりから酔っ払いや若者が朝まで騒ぐといったケースが増えている。法規制では川岸(所定の店などを除いて)でのアルコールの消費は禁止されているが、近くではタバコ屋でもアルコールなどが販売されているのが実情。今後夏にかけて、深夜の2時から4時まで、市警察がパトロールする。

③ 花粉アレルギーに注意

急激な気温の上昇に伴い、樹木や草などの花粉が飛んでいる。ローヌアルプ、オーベルニュ、アキテーヌ地方で、観測機関が5月半ばから注意を呼びかけている。

<http://www.pollens.fr/accueil.php> のサイトから、花粉に関する情報を入手可能。